２０２６（令和８）年度市政懇談会　開催結果概要

●日　時　令和８年８月３日（月）午後２時００分～
●会　場　共栄ふれあいセンター
●出席者　１１人

〔市長より説明　（別途資料参照）〕
（１）釧路市の財政状況及び事務事業見直しの今後の取り組みについて
（２）釧路短期大学の公立化について
（３）北陽高校移転の検討について
（４）令和８年度の市の取り組みについて

●意見交換

【参加者Ａ】
　産後ケア事業について、ケアのニーズについては産後だけではなく、不妊治療中の体のケアや妊娠期から出産までのケアなど多岐にわたりますが、この事業にはそれらの項目がありません。子供が生まれる前からのケアが重要と考えます。市長のご意見をお伺いします。

【市長】
　プレコンセプションケアが大切ということで、国の施策にも盛り込まれてきました。市が事業を実施すると国が支援するなどの話はありませんが、私もそれらに取り組みたいと思っております。国の動向を見ながら積極的に制度化できるよう考えていきたいと思います。

【参加者Ａ】
　今、説明を受け財政が厳しいとのことですが、例えばお金がかからずにできるＰＲをしていただくなど、私たちも市と協働してできるものがないのかと考えておりますので、今後もよろしくお願いします。

【市長】
　財政のことも考えていただき、ありがとうございます。ただ施策はしっかりとやっていかなければなりません。高齢化は私も含め、皆さん毎年１歳ずつ歳をとっていくので予測がつきます。少子化のほうは、急激すぎて予測できず制度が追いついていない状況です。そこを何とかしなければいけないので、そういった施策は前向きに取り組んでいきたいと思います。

【参加者Ｂ】
　これまで市議会に対し数回に渡り、市長市議会選挙では公選法に基づく選挙公報を発行すべきと陳情してきましたが、いずれも不採択です。選挙は公約や経歴、信条を明確にすることで候補者選択をするものです。しかし道内の市の中で発行していない

のは小樽、伊達、根室、釧路のみ、１０万人以上の市では釧路だけです。市長議案として提案していただきたいです。

【市長】
　選挙公報の関係ですが、今の選挙の流れの中で、候補者的にも選挙公報に応えられる体制になっていないのかなとの思いもあります。皆で考えていくべきものと思います。今のところ私から提案というのは考えていませんが、今後必要となった場合は議会が判断して頂けると思っております。

【参加者Ｂ】
　財政の説明を聞きました。今、釧路にとって大事なことは駅周辺の再開発や駅高架化をどうするかです。新聞でも止めたらどうかと何度も出ています。しかし市は予定どおり進めると言っています。鉄道の利用者は以前の３分の１、高速道路ができ飛行機、都市間バスも走っています。鉄道は大事ですが、市が一部負担して実施するのはどうかと思います。駅周辺の再開発は、他都市でもやっているが成功したところはありません。

【都心部まちづくり推進室長】
　鉄道高架関連事業につきまして、まずは、全体事業費の算出や市負担額の協議に加え、老朽化した跨線橋の架け替え費用も算出してまいります。
　その上で、R12 年度には、これら比較検討が可能な事業費や駅周辺のまちづくりの方向性を市民の皆様へお示しし、ご理解やご判断いただけるよう検討を進めてまいりたいと考えております。

【市長】
　今年度行っている道路の概略設計は、議会の議決を得て進めております。具体的な事業費等が決まった段階で、もう一度、議会の皆さんや市民の皆さんの意見を反映した形で、議決をいただくことになっております。それを見てからご判断いただければ、ありがたいと思っています。

【参加者Ｃ】
　財政難であるのに、散水車で散水をおこなっていることが考えられません。他の方に話をしても反対の議論は無いですが、水を撒いても、乾いて風が吹くと意味が無いと思います。以前道路課の方に話をしたら、止めると散水車で働いている方の仕事が無くなると言っていました。財政難で草刈りも夏場に３回程度はおこなっていたが現在は１回してくれれば良い方です。散水者で働いている人の仕事が無くなるのであれば、草刈りの仕事をさせてほしいです。散水車について市長はどのようにお考えでしょうか。

【副市長】
　水を撒く車ではなく、路面清掃をおこなうための車です。市で行っています。春先に冬期間に溜まった道路の砂等を清掃するときに、それらが飛び散らないよう水を撒きながら清掃しています。

【参加者Ｃ】
　理解しますが、私が住んでいた関東では聞いたことはありません。

【副市長】
　関東は雪が積もらず、雪が路肩に積もって泥が溜まることも無いと思います。雪が解けると砂や泥が溜まっているのが解かると思います。

【参加者Ｃ】
　今は無いです。

【副市長】
　今の時期も何回か清掃は行っていると思います。契約で実施することになっています。清掃だと私は認識しております。

【市長】
　市の無駄がある場合は改善し、省けるところは省いてくださいとのことですね。財政が厳しいので、担当も予算を毎年精査しています。雇用維持のためだけに行っている事業はほぼ無いと思ってください。散水車の件は、その必要性も含め調査していきます。よろしくお願いします。

【参加者Ｄ】
　今の話で、明らかに雨あがりの濡れた道路を散水車が走っていました。散水車なのか清掃車なのか知らないですが、業者が既得権益と癒着で仕事をずっと貰っているのは事実ですよね。

【市長】
　それはありません。必要が無いものに市が行っている事業はありません。

【参加者Ｄ】
　なぜ、雨上がりの道路に散水車が走るのでしょうか。削減したほうが良いと思います。

【市長】
　その辺も含めて確認させていただきたいと思います。

【参加者Ａ】
　稼げる街になってほしいと思います。例えば市役所の駐車場については、平日は住民サービスで無料開放していますが、土日は有料化にするのはいかがでしょうか。ちびっこマンデーの無料化は良い事と思いますが、経費も掛かっているので、大人まで無料にする必要性は無いと思います。税金で賄っていていることを、若いうちから周知する必要性を市で考えていただきたい。一部の転勤者は、釧路は何でもすぐ無料にすると言っています。

【副市長】
　駐車場の件についてお答えします。平日も含め、有料化したらどうか検討していました。今のところ、有料化するためには、機械の設置や維持コストと収入を計算したところ、収支のバランスが取れなかったため実現には至らなかったですが、そういった観点を大事にしながら検討していきたいと思います。ありがとうございます。

【市長】
　ちびっこマンデーの大人の有料化の提案をいただき、ありがとうございます。様々な細かいところ、できることをやっていきたいと思います。例えば指定管理の中で、赤いベレーのような宿泊が伴うような施設は、ダイナミックプライシングで繁忙期は高い宿泊料金が取れるよう、民間に近い値段設定ができるようにいろいろ考えております。稼ぐという部分で、できることはやっていきたいと思います。よろしくお願いします。

【参加者Ｃ】
　釧路のマスコットキャラクターはタンチョウなのでしょうか。以前、空港でマスコットキャラクターを見た時に、大変可愛いと好評でした。グッズを探しましたが、空港では販売していませんでした。

【総合政策部長】
　資料にでているツルは、公式ではなくホームページリニューアル時に作成したキャラクターです。空港で見られたキャラクターはつるまると思われます。こちらも公式ではなく、市や弟子屈町等で構成する観光圏協議会のキャラクターです。グッズ販売しているかは存じ上げませんが、おそらく販売していないと思います。市の観光部門で所管していますので、そのご意見は伝えさせていただきます。ありがとうございます。

【参加者Ｅ】
　ＪＲの上下分離方式について、釧網線と花咲線の沿線自治体との話がどの程度進んでいるのかお聞きします。

【総合政策部長】
　ＪＲ北海道単独では維持が困難な、いわゆる黄色線区ということで、釧網線と花咲線が釧路市において関わっております。平成２８年に出ましたが、これまで一貫して地域にできることは、利用促進であるということで、釧網線の沿線自治体と花咲線の沿線自治体で協議会を作りました。例えば釧網線ですと、周遊商品の販売や自転車と列車の関係など、利用促進を図る取り組みを行ってきたところです。今日も新聞報道があったようですが、市としては上下分離方式等の具体的なことを示されていないので、具体的に申し上げる段階にはないというのが現状です。あわせて市としては、まず国の責任において鉄道ネットワークの在り方について方向性が示されて、その上で、ＪＲ北海道をはじめ、国や北海道が鉄道網の在り方について、広い視点に立った議論を進めていただく必要があると考えております。地域として、１市町村で決めることではありませんので、基本的には沿線自治体で考え方をまとめていくことが必要にな

ると考えております。

【参加者Ｅ】
　決め方の方向性はあるのでしょうか。市民に説明しなくてはいけないと思います。

【市長】
　情報は提供したいと思っています。上下分離方式については、一旦ＪＲで撤回しましたので、再度の提案がなければ皆さんに説明する状況にありません。国がＪＲに対し、抜本的改善策を今年度中に提出するよう求めています。それに合わせて協議したいと思っています。釧網線が昨年１９億円赤字、花咲線が１２億円赤字ですので、沿線自治体では負担できる金額ではありません。

【参加者Ｂ】
　市長はこの間、３件の事件で告発されており、公選法はきちんと守らなければならないし、説明会でも話をされているはずです。知らなかった、認識不足ではすまないと思います。市民に対し反省の弁はありませんか。

【市長】
　非常に反省しております。以後、気を付けてまいります。

【参加者Ｂ】
　市は国際バルク事業の事業費１８４億円のうち３４億円負担している。国の事業に３４億円負担するのは、考えられません。市の財政が大変になります。コールマインは新聞に黒字になったと掲載されていましたが、実際は相当厳しく普通の企業では考えられない経営状態であり補助金で成り立っている会社です。そこに市は地産地消を掲げ、石炭対策協議会をつくり毎年３５９万円、今まで５，６００万円補助金を出していますがやめた方がいいと思います。

【副市長】
　石炭協議会へは補助金を出しています。それは、コールマインが技術協力ということで、海外から研修生を沢山受け入れており、そういった方々との交流等の事業に対して出している部分もあります。それが無駄と言われれば、そういう見方もあると思いますが、外国人の方々を受け入れている、釧路コールマインの技術を海外へ移転している、国の事業に協力する中で必要な事業と思い、補助金を出しているのが現状です。バルク戦略港湾については、釧路港の管理は釧路市です。道外は港の管理は都府県が管理していることが多く、北海道は市町が管理していることが多くなっています。管理者の負担は法律で決まっています。国際バルク戦略港湾についても、そういった法定の負担がありました。しかし、釧路港が国際バルク戦略港湾に認定されることにより、水深も深くなり海外から牛の餌となるトウモロコシが、ファーストポートとして釧路港に入ってくることになると、トウモロコシの値段が変わります。そういった部分で、東北海道の飼料を支えているのは釧路港ですので、酪農を支えるという意味では釧路港が国際バルク戦略港湾として選定されたことは、非常に有意義な部分があると考えています。国策なので国で全て行ってほしいと思いますが、法律で負担が決

まっていますので、必要な負担と考えています。

【参加者Ｅ】

回答はいりません。音別尺別駅前の私の土地にある、映画ハナミズキのオープンセットを保存するのか７月初旬から音別町行政センターから話があり、行政から要望があれば地域のために対応するつもりでおります。若干の予算は必要となれば音別町行政センターから話があると思いますので、よろしくお願いします。

【市長】

釧路を代表する映画だと思います。音別町行政センターからは、そのお話は上がってきておりません。いろいろな地域おこしのやり方があると思いますが、建物を持つのかなど協議を行うと思いますので、センターとも相談しながら検討します。

【参加者Ｆ】

中国人が釧路市の土地を買い占めているのはご存じでしょうか。

【財政部長】

中国人の土地の問題は、全道でも問題になっていることと思います。少なくとも私のところには、何か問題が生じているなどの情報は入っておりません。今後も注視して、考えて見ていくべき問題ではあるとは認識してございます。

【参加者Ｆ】

市立総合病院の建築について、工事が遅れ、お金の返納があるという話があったと思います。お金の返却は大丈夫ですか。

【副市長】

恐らく設計の問題だったと思います。その件は訴訟まで行き、市としてはその設計が納品され、私たちの指示した納品がなされなかったということで、訴訟になりました。全面市が勝訴いたしまして、全額返金という形になって決着しているところでございます。そのあと、もう１回設計をし直したのが今の病院になっております。

【参加者Ｆ】

蝦名市長は１００億円残したという話ですが、それはどうなったのでしょうか。

【市長】

基金残高として、約１００億円積み上がりました。その１００億円は極端に減らさない、事務事業見直しと財政再建に取り組んでおります。

【参加者Ｆ】

本日の資料に避難場所整備事業が記載されています。私が住んでいる場所の近くに附属小学校があるのに、避難場所は桜が丘中学校になっています。高齢者は歩けない方も沢山おり、目の前の施設に避難できるよう改善できないのでしょうか。

【総務部長】
　桜ヶ岡地区は津波が来ないため、附属釧路義務教育学校を一時的に避難する避難場所に指定していません。中長期生活するための避難所としては、義務教育学校や桜が丘中学校を指定しています。それは町内会を中心に地域の皆さんに説明しております。避難所等に変更があった際には、町内会等と地域の皆さんに説明しに伺います。